

服飾専門課程	ファッション デザイン専攻科	単位数	担当教員 本校教員	
		週 9.5時間	実務経験のある教員	
		/年 38週		
科 目		被服構成理論・実習3		
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>アパレル分野において業界が求める高度な知識・技術・技能を有するスペシャリストを育成する。ファッションのすべてをトータルに学ぶ。</p>				
<p>授業の概要</p> <p>アパレル科で学習したことを応用させ、より高度な縫製技術の修得を図る。</p>				
<p>授業計画</p> <p>商品企画作品製作</p> <p>ファッションショー作品製作</p> <p>企業コラボ作品製作</p> <p>自由課題作品製作</p> <p>定期試験 … 前期試験 後期試験</p>				
<p>テキスト</p> <p>『スカート・パンツ』『ブラウス・ワンピース』『スーツ・ベスト』『コート・ケープ』 (文化ファッション大系 文化服装学院編)</p>				
<p>参考書・参考資料等</p> <p>学校独自のプリント類</p>				
<p>学生に対する評価</p> <p>出席率、授業態度、定期試験等により総合的に評価する。</p>				

服飾専門課程	ファッション デザイン専攻科	単位数 週 2 時間 /年 20 週	担当教員 野々村 陽子	
			実務経験のある教員	○
			アパレル会社のパタンナーとして培った知識・技術を教授する。	
科 目		パターンメイキング 3		
授業の到達目標及びテーマ 基本原型からデザインパターンができるように学習する。				
授業の概要 基本原型から各自でストレート原型に作成し、デザインものをパターンメイクする。				
授業計画  タイト原型からストレート原型に  ダーツ展開  ラグランブラウス  ラグランスリーブブラウスを利用したデザインブラウス    定期試験 … 前期試験				
テキスト				
参考書・参考資料等 『パターンメイキングの原理』 大野順之助著				
学生に対する評価 定期試験 40% ノート提出 30% 出席率 30%				

服飾専門課程	ファッション デザイン専攻科	単位数	担当教員 野々村 陽子	
		週 2 時間	実務経験のある教員	○
		/年 20 週	アパレル会社のパタンナーとして培った 知識・技術を教授する。	
科 目	ドレーピング 3			
授業の到達目標及びテーマ 立体上で見る目を養い、立体的に形を分析する能力を養う。				
授業の概要 人台にシーチングを当て、デザイン画のシルエットを表現して型紙にする。				
授業計画  デザインブラウス フレンチスリーブ ペプラム接ぎ  プリンセスワンピース  脇接ぎなしワンピース     定期試験 … 前期試験				
テキスト				
参考書・参考資料等 『立体裁断 基本理論から応用』 小山千暁著				
学生に対する評価 各アイテムの完成度 30% 定期試験 70%				

服飾専門課程	ファッション デザイン専攻科	単位数	担当教員 中島 奈緒子	
		週 2 時間	実務経験のある教員	
		/年 38 週		
科 目		ファッションデザイン画3		
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>パターンと縫製指示を念頭に置き、デザイン画の技術を伸ばし想像力や表現力を養う。</p>				
<p>授業の概要</p> <p>就職活動、コンテストに対応したデザイン画の描法を学ぶ。 実務を踏まえての実践的なデザイン提案をする。</p>				
<p>授業計画</p> <p>コンテスト応募作品</p> <p>早描きの練習</p> <p>トレンドと素材の描法</p> <p>ハンガーイラスト</p> <p>写真スケッチ</p> <p>卒業制作</p> <p>定期試験 … 前期試験 後期試験</p>				
<p>テキスト</p> <p>『ファッション画ビギナーズ超速マスター』（グラフィック社）</p>				
<p>参考書・参考資料等</p> <p>『ファッションドローイングテクニック』（織研新聞社）</p>				
<p>学生に対する評価</p> <p>定期試験 30% 提出物 40% 授業態度・取組意欲 30%</p>				

服飾専門課程	ファッション デザイン専攻科	単位数	担当教員 本校教員	
		週 2 時間	実務経験のある教員	
		/年 38 週		
科 目	CG3			
授業の到達目標及びテーマ				
Adobe IllustratorCC・PhotoshopCC を使用して、即戦力としてアパレル業界で活躍できるよう実践的な応用力を高める。				
授業の概要				
Adobe IllustratorCC・PhotoshopCC を使用して、就職活動ポートフォリオや、商品企画の企画書を作成します。				
授業計画				
企画 SHOP				
ブランドロゴ制作				
ブランドイメージマップ制作				
ハンガーイラスト作成				
LOOKBOOK制作				
商品タグ作成				
プレゼンテーション資料作成				
就職活動ポートフォリオ				
ファッションショーBOOK製作				
テキスト				
『ファッションデザインテクニック』（グラフィック社）				
参考書・参考資料等				
学校独自のプリント類				
学生に対する評価				
出席率、授業態度、提出物等により総合的に評価する。				

服飾専門課程	ファッション デザイン専攻科	単位数	担当教員 山田 秀子	
		週 2 時間	実務経験のある教員	○
		/年 20 週	アパレル企業の CAD オペレーター勤務の経験から、CAD システム操作法を教授する。	
科 目	アパレルCAD・CLO			
授業の到達目標及びテーマ				
入力作業からパターンメイキング、パターン展開を中心に、グレーディング、マーキングの基本的操作を修得。				
授業の概要				
ブラウス、ジャケットのパターン制作の実践。 CLO Enterprise を操作し、3D 着装シミュレーション。				
授業計画				
アパレル CAD 説明・デモ				
ブラウス				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・パターンメイキング</li> <li>・ブラウス展開</li> <li>・グレーディング</li> </ul>				
CLO Enterprise				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明 デモ</li> <li>・CADからCLO</li> </ul>				
テキスト				
学校独自の教材				
参考書・参考資料等				
学生に対する評価				
理解度 70% 授業態度・取組意欲 30%				

服飾専門課程	ファッション デザイン専攻科	単位数	担当教員 野田 梓織	
		週 1 時間	実務経験のある教員	○
		/年 38 週	アパレル会社の MD を経験して培った知識を教授する。	
科 目	産業デザイン			
授業の到達目標及びテーマ				
ファッションビジネスを新しい切り口で提案、立案。ポートフォリオ制作。				
授業の概要				
次世代型、企画提案をする。新チャネルへの挑戦。				
授業計画				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マーケットリサーチ     マーケット分析とデザイン展開</li> <li>・ ショップデザインと運営</li> <li>・ ネットビジネスの拡大、調査</li> <li>・ ネットショップ運営の現状</li> <li>・ ポートフォリオ作成</li> </ul>				
テキスト				
参考書・参考資料等				
学生に対する評価				
内容構成、独自性、表現の明瞭正確さ等により総合的に評価する。				

服飾専門課程	ファッション デザイン専攻科	単位数	担当教員 本校教員 ものづくりマイスター※	
		週 4 時間 / 年 38 週	実務経験のある教員	○
			※ネットショップ製作と運営など基礎的な作業を学生に実技指導する。	
科 目	生産管理・商品企画			
授業の到達目標及びテーマ				
市場導入可能な業態開発を進めるべく、コンセプトやマーチャンダイジングプランをビジュアル化した企画書作成を経て、売り場環境や販売システムに至るまでのプレゼンテーションを実施します。				
授業の概要				
グループごとのブランドコンセプトを決め商品を製作し、販促、販売、売上集計などを行う。				
授業計画				
企画 SHOP				
ブランド分析・ブランド企画				
デザイン出し・デザイン修正				
トワルチェック				
商品カタログ制作				
カタログ撮影				
LOOKBOOK 構成				
フロアショー構成				
プレゼンテーション				
フロアーショー				
ショップ運営・売上管理				
テキスト				
『スカート・パンツ』『ブラウス・ワンピース』『スーツ・ベスト』『コート・ケープ』 (文化ファッション大系 文化服装学院編)				
参考書・参考資料等				
学校独自のプリント類				
学生に対する評価				
出席率、授業態度、提出物、プレゼンテーション等により総合的に評価する。				

服飾専門課程	ファッション デザイン専攻科	単位数	担当教員 野田 梓織	
		週 2 時間 /年 20 週	実務経験のある教員	○
			アパレル会社の MD を経験して培った知識を教授する。	
科 目	ファッションビジネス 3 ・ 材料学 3			
授業の到達目標及びテーマ アパレル業界、繊維業界の現状の理解と開発分野の拡大調査を目標。 ファッションデザインの根幹を成すコンセプトと創作の根源の研究。				
授業の概要 アパレル業界の実態を掴みとれる行動。市場の動向を見極め、今の時代に求められる創造力と発信力を身につける。				
授業計画 ① 最新情報から国内外のアパレル、繊維業界の現在を修得 ② ワールドコレクション(パリ・ミラノ・ロンドン・ニューヨーク)トレンド分析 ③ 国内アパレル市場の動向の調査、分析から新しいデザインの創作(演習) ④ アパレルテキスタイルの動向の調査 ⑤ アパレルブランドの創出に向け、独自性のブランド提案をする計画書作成				
テキスト				
参考書・参考資料等 制作資料の配布 アパレル、繊維テキスタイルトレンドと業界の資料				
学生に対する評価 出席率、授業態度、提出物により総合的に評価する。				